



# ゆうあい ほっとらいん

令和4年4月・5月号  
第288号

掲載内容に関するお問い合わせ  
☎ 042-481-7711

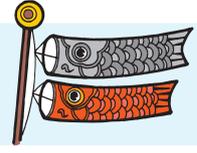
発行 公益財団法人 調布ゆうあい福祉公社 所在地 〒182-0022 東京都調布市国領町3-8-1



## 感謝状贈呈式 (令和4年3月13日)

写真(後列左より) 塚本事務局長、渡邊、星野、高妻、大下協力会員、緒方協力会員、河合協力会員、宮下、花角理事長、及川、久門協力会員

前列左より 高橋、高橋協力会員、田中協力会員、横山協力会員、町田協力会員、西協力会員、三井協力会員)



## 2月3日の節分

会社での節分を紹介しま  
す。

ご利用者には、厄除けの  
短冊を書くとともに、赤鬼  
と緑鬼に扮した職員に、厄  
落としのボールを投げてい  
ただきました。



鬼は外！福は内！！



鬼のお面の製作

## 3月3日のひな祭り

ご利用者と職員で、例年  
同様、雛人形を各部屋に飾  
り付けをしました。

また、機能訓練などの合  
間に、皆さまが貼り絵で作  
られたお内裏様とお雛様  
も、廊下に飾り付けをし  
ました。



お雛様の製作



お内裏様が向かって右側は、  
関西風の飾り方だそうです

## センターの 感染症予防対策

国領デイサービスでは、引き  
続きコロナ感染症予防対策で、  
職員はマスク着用、うがい・手  
洗いを徹底しています。また、  
令和3年9月からは、毎月、P  
CR検査も受けています。

施設内では、アクリル板でパ  
ーソナルスペースを確保すると  
ともに、常時、換気や消毒を行  
っています。

ご利用者の皆さまには、ご自  
宅での検温、送迎時からのマス  
ク着用、また施設到着時のうが  
いと手洗いの徹底をお願いして  
います。

感染症予防のため、これから  
もしっかりと対策を講じて参り  
ますので、皆さまのご協力をよ  
ろしくお願いいたします。



## 2〜3月の活動報告

### 来訪

・ピアノ演奏 田澤様（2月25日）

### 行事

・節分（2月3日）

・ひな祭り（2月下旬）

### 避難訓練

地震を想定した避難訓練で  
す。今回は感染症対策のため、  
外に避難せずに実施していま  
す。（3月10日、12日、15日）

## 4〜5月の活動予定

### 行事

・お花見（テラスにて）  
・五月の節句

## 個人ボランティア

1月延べ 29名

2月延べ 17名

皆さまのご協力ありがとうございました

## お楽しみボランティア募集

歌や踊り、ミニ演奏会、朗読  
等を發揮してください。30分  
から1時間程度で要相談。

### 【申込み】

☎042（481）7711

デイサービスセンターまで

## ぷちぽあん 通信

今回は、ぷちぽあんを支えてくださる心強いボランティアさんお二人をご紹介します。最初に、奈良泉水さんです。

高齢者施設等で、傾聴ボランティアをされていたご経験を生かし、ご利用者の話を丁寧にかがってくださいます。

コロナ禍もあり、活動を控えていただいた期間もありましたが、活動再開後は、ご利用者、職員共々、奈良さんの温かい笑顔と寄り添う姿勢に癒され、元気をいただいています。



お二人目は、高間美香さんで、かつてお母様もぷちぽあんボランティアをされていたという、親子2代のボランティアさんです。

主に、火曜日のご利用者に飲み物を提供する活動をお願いしています。

「皆さまから感謝のお言葉をいただくことが多いのですが、私の方こそ皆さまに感謝をしています。」と仰います。

ぷちぽあんは、様々な地域のボランティアさんに支えられています。

この場をお借りして、感謝申しあげますとともに、今後よろしくお願いたします。

## 高齢者のご家族のための総合相談窓口 地域包括支援センターゆうあい



地域包括支援センターは、高齢者ご本人やそのご家族が福祉や介護に関する様々な相談のできる総合相談窓口で、調布市の8つの各福祉圏域に設置されています。

月曜日～土曜日の間、来所（来ていただく）、電話（していただく）、訪問（うかがわせていただく）の方法で、ご相談を承っています。

地域包括支援センターゆうあいは国領町と八雲台の2か所に事務所があります。

担当圏域は、国領町1～5丁目、8丁目1～4、八雲台、佐須3丁目1～24、42、調布ヶ丘2丁目、3丁目5～22、26、27、布田2～3丁目です。

皆さんありがとうございました！  
 ございました！

公社の食事サービスは、多くの協力会員が、調理・配達・洗浄の作業を分担し、協力して実施する活動で成り立っています。

この3月31日で、その活動を終了された方々の声を、ご紹介いたします。

植田 賢次さん

総合福祉センターの4階で始まった食事サービスは市内2カ所の地域福祉センターの調理室を借りて食事をつくり、そこに車で行って届けていた。「ボランティアが集まらない」との声を聞いて、休務日を使い、公務員ならいいだろうと思って始めた。一時は集まった人も社会の変化により減少、人集めに事務局は苦勞したようだ。仕事の参考になると思い始めた活動ももう終わり。仕事のストレス解消にも役立つ活動、辞める手はないと思う。

町田 裕子さん

食事配達に携わって27年。あの当時は利用者さんとの関係も

のんびりしていた。行くとお茶を用意してくれたり、一方、配達作業は一人で多くの件数を持ち、長時間。今でいうブラックな面もあり、それは各人の心意気の高さでクリアしていた部分が多かった。時代は進み、今はお弁当を正確に届け、安否確認しつかり、そういつたきめ細かなサービスが求められており、気が抜けない。それをきっちり担っているメンバーたちを私はとても誇りに思う。大声でエールを送り、後を託したい。

田中 晶子さん

地域福祉センターの小さい調理室でのお弁当作りから始めて気がついたら二十数年もの「ゆうあい」とのお付き合い!! 理事長さんを始め、職員さん、そしておなこまランナーの皆さまのお陰様と感謝でいっぱいです。利用会員の方が待っていると思うと台風の時も雪の時も皆で力を合わせ頑張ってたてきましました。お陰様で今日まで元気に過ごせたことを力に、これからも何か人様の役立つ人生を送っていかれたらと思っております。

横山 照子さん

思いがけず長い年月を「ゆうあい」の活動に参加させていただきました。車の事故や誤配などで、御迷惑もおかけしましたが、いつも温かく親切に支えていただいた職員、おなこまランナーの皆さまには、心より感謝しております。家事援助や配達を通して、人生の先輩を拜見し、これから辿るであろう自分の道も勉強させていただいたと思っております。健康寿命云々といわれる昨今ですが、私も自分の足で歩き続けられる様に頑張りたいと思います。

三井 優さん

丁度十年お世話になりました。先輩の教えはとりあえず忠実に従い守る。慣れた後は自分の考えが、効率が良ければ修正を行う。現在、汁物が再開され、手渡しに難しいご利用者には、下駄箱の上やかまちに置く方法を提案して、了解が得られたら変更する。変更後は置き易い様に身体を避けて頂ける。先輩からの教訓のお陰でご利用者のご意見を聞きながら終る事が出来ました。

専門相談のお知らせ

市民や協力会員を対象とした公社の専門相談の、令和4年度の日程等を、左記のとおりお知らせします。

相談をご希望される方は、事前に予約をお願いします。なお、相談は無料です。

(日程は、事情により変更する場合があります。)

●内科相談 (13時半～15時)

5月19日(木) 7月21日(木)

9月15日(木) 11月17日(木)

1月19日(木) 3月16日(木)

●精神科相談 (10時半～12時)

5月24日(火) 7月26日(火)

9月27日(火) 11月22日(火)

1月24日(火) 3月28日(火)

●法律相談 (10時半～12時)

5月20日(金) 7月14日(木)

9月16日(金) 11月10日(木)

1月20日(金) 3月9日(木)

※1件40分の相談時間となります。

【申込み・問い合わせ】

住民参加推進係まで

☎042(481)7711

西 龍己さん

会社定年後、色々やったが何か満たされなかった。そんな時、ゆうあいのボランティア募集を知った。早速聞きにいった。ゆうあいは、お年寄りなど食事に不自由している方むけに食事配達を行っている。最大の特徴は、調理、配達を全て市民のボランティアで行っていることだ。同年代の方々の顔がいい。即決した。ボランティアといっても責任重大だ。週に2回の活動。ご利用者との会話、車の運転、たまに起きる突発事項など、ほどのプレッシャー、緊張感、達成感がいい。定年後何もしていなかった私は、はまった。充実した毎日だった。ボランティアのメンバーとのLINE、お茶、気のおけないお付き合い、喧々譁々の議論もした。この歳になつて新たな友が出来るとは。嬉しかった。ありがたかった。あつという間に13年、もう卒業だ。この間、ゆうあいの方々、他色々な方に本当にお世話になった。本当にありがとうございます。

高橋 匠さん

私が、「ゆうあい」の食事サービスとおなかまランナーの一人として感じたことですが、始めた頃は、誤配をしないようにと、気持ちに余裕がなくご利用者の様子などを伺う余裕などありませんでした。一か月した頃から少し余裕が出てきて、ご利用者とコミュニケーションを図ることが出来るようになりました。ご利用者から「寒いのに配達ありがとうございます」等の感謝の言葉かけをいただき大変嬉しく思いました。このような地域福祉活動を経験できたことで、有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。

会社では、これら先達の皆さんの想いをしっかりと受け継ぎ、今後も市民相互の助け合いを広げるように努めて参ります。



協力会員専門研修

「車いすの操作を学ぼう」

4月24日(日)の15時半～16時半に、公社の活動室2で、車いすの操作や仕組みに関する研修を実施します。

この機会に、ご自身で実際に車いすの試乗体験をしてみませんか。

最近では、車いすをお使いのご利用者様の、外出同行や通院支援のご依頼が増えているので、公社としても、車いすの操作に慣れた協力会員が増えれば幸いです。

ぜひ、お気軽にご参加ください。なお、定員に限りがありますので、早めのご予約をお願いします。

研修後には、参加者同士が、日頃の活動に関する感想等を語り合う時間も、作りたいと考えています。

【申込み・問い合わせ】

住民参加推進係まで  
☎042(481)7711

スマホ・オンライン相談会  
が始まります

「スマホに代えたのに使いこなせない!」。そんな悩みを抱

えた方に朗報です。

令和4年度、公社では、協力会員・利用会員・賛助会員を対象に、新たに「スマホの使い方相談」を始めます。

日程等、詳細は左記のとおりです。公社の協力会員がマンツーマン指導で、皆さまのお困り事を解消するお手伝いをいたします。

この機会を活用して、ぜひ、スマホやタブレットの操作を習得し、活動の場を広げ、コロナ禍での生活を豊かにしましょう。

【年間予定】  
4月19日・6月21日・10月25日・12月20日・2月21日

【時間】

13時30分～16時の間

一人40分程度

【対象】

ゆうあい福祉公社の会員の皆さま

【会場】

ゆうあい福祉公社相談室

【費用】

無料

【予約受付】

申込順(1日3名)

【申込み・問い合わせ】

住民参加推進係まで  
☎042(481)7711

# 令和4年度事業運営方針(概要)

## 住民参加

公社の住民参加型事業に、協力会員の存在は不可欠です。協力会員は、公社事業の原動力であり、地域に欠かすことのできない福祉人材です。スマートフォンやオンラインの活用等新たなツールにも目を向け、地域の福祉人材の発掘に努めます。



## 認知症・ケアラー支援

調布市、各地域包括支援センター等と連携し、「調布市版チームオレンジ」の立上げに取り組む予定です。家族介護者の支援では、引き続き、ケアラー支援団体とのネットワークを活かし、調布市版「介護者(ケアラー)手帳」を作製する予定です。



## 介護予防

コロナ禍の中で、外出機会が減少するなどフレイル予防の重要性を改めて認識しています。運動面におけるフレイル予防をさらに充実させる体制の構築について提案していきます。



3月から訪問介護系の職員として勤務しています。入社初日、大変緊張して公社の玄関をくぐりましたが、受付



井口 眞理子

それには、立地だけでなく職員、ボランティアさん達の醸し出す雰囲気、大きく貢献していると感じます。私もその一員になれるように努力したいと思っています。



小林 千穂

デイサービス係で介護士として働き始めました。配属先はぶちぼあんです。ぶちぼあんは木々に囲まれ野鳥が来る自然豊かな所で、晴れた日には富士山も見えます。そんな素敵な環境でご利用者は、ゆったりと心地よく感じながら過ごされているようです。

## 新人紹介

に飾られたたくさんの方の可愛らしいお雛様に迎えられ、緊張も一気に和らぎました。至らない点も、多々あるとは存じますが、ひとつひとつの出会いを、学びの機会ととらえて、大事にしていこうと考えています。どうぞよろしく願っています。



## 御礼

令和4年1月21日)

令和4年3月15日まで

匿名 寄附金 30万円

匿名 寄附金 1万円

ご寄附をありがとうございました。

会員状況 (令和4年2月末現在)

○利用会員 247世帯(298人)

○協力会員 241人

○賛助会員 個人 258人

法人 6団体